



特定非営利活動法人 日本プロフェッショナルエンジニア協会

2020年(令和2年)7月度 理事会 議事録

【日時】 2020年7月11日(土) 10:00 - 12:30

【場所】 Zoom

【出席者】 計9名

理事: 森山、小口、藤村、稲葉、西久保、太田、義本、森口

監事: 植村

【欠席者】 川瀬(議決権会長委任)、奥野、土屋、

【審議開始準備】

- ・ 書記、議事確認者を議長より指名 書記: 稲葉、承認者: 小口、西久保
- ・ 前回までの理事会からの宿題事項確認 … 各審議事項、報告事項の中で対応

【審議事項】

1. 会員数推移 (会員: 小口) … Shiryo-S01

5月度理事会後	PE178名	PES1名	PEN62名	FE59名	AF27名	ST10名	合計 337名
7月度理事会後	PE180名	PES1名	PEN62名	FE58名	AF26名	ST10名	合計 337名

2. 総会などで寄せられた会員からのコメントへの対応審議 … Shiryo-S02

● 外部情報収集補助制度での NSPE 会費の負担

- 西久保・義本にて、補助制度申込書をベースに運用を開始することとする。
以下、理事会中のやり取りを記す。

〈森山〉

現状、コロナの影響で年会費の NSPE との面談・交渉が事実上不可という状況にある。NSPE の年会費の補助については、NSPE 会員である JSPE 会員に半額の 150ドル程度(日本円で 15,000円)の負担を行うことを審議いただきたい。

予算面では、例年、NSPE 総会では旅費(最大 60 万円)を充てているので、確保できている。来年度以降、渡航可能になり、旅費が発生する場合は渡航者の人数も含めて改めて考える。

〈森口〉

マガジンの記事、エンジニアズサロンやセミナーでの報告などをしてもらい、それらに対する対価(謝金)として、補助を支給する形にした方が、きちんと初期の目的を達成できると考えられる。

〈西久保〉

補助制度申込書に、どのような活動を行い、どのような成果物(基本、マガジンの記事)を挙げるかを審査する形式がすでにある。

〈義本〉

日本人の NSPE 会員の間口を広げるという趣旨で賛成する。

補助制度申込書について、NSPE 会費用の補助制度版を作成し、運用することを提案した。

〈西久保〉

申込書では申請額を記載するが、最終の補助支給額は、事務局側で判断する。JSPE 側で欲しい内容(各州の登録状況、NSPE のトピックなど)はある程度、事務局側から提示した方がよいかと思われる。

● メール大喜利でのデジタルトランスフォーメーションの議題

- 会員より取りまとめ者(リーダー)を選定し、依頼する。
- 方式は、セキュリティを考慮し、試行的に会員サイト内に掲示板を設置する。
以下、理事会中のやり取りを記す。



特定非営利活動法人 日本プロフェッショナルエンジニア協会

<森口>

伝達方式は、メールでなく、SNS(Facebook など)が良いと思われる。話題の時系列・分岐点などが分かりづらく、途中からでは入りづらい。また、話題が特定の参加者に集中してしまう。

<森山>

2年ほど前に、一度運用した掲示板があるので、それをトライアルで運用する。

<義本>

使い勝手の観点から、掲示板が良いと考える。

- 鬼金セミナーのPMIのREP登録を継続しない理由、PDUについてJSPEが発行するPDHで代用できる理由のHPでの説明

➢ 鬼金セミナーの紹介ページに掲載する。(森山)

➢ シニア会員制度は、西久保にて、掲載場所を検討する。

<稲葉>

JSPEマガジンに掲載し、7月4日のセミナー開始時に説明実施した。

- 対外発信のため「PE制度に関する本」のOn-demand出版等の検討

➢ 20周年記念WGと並行して、出版を目指した企画から始める。

<森山>

「出版」となると、事業になり会計上、取り扱いに慎重な対応を要する。ただし、JSPE側は執筆をするだけで、出版は出版社が行うという方法も考えられる。

対外発信が目的であれば、本の出版にこだわらず、雑誌への寄稿という方法もある。

<義本>

本件の総会中の発言者の意図は、対外発信であり、PE制度に関連する紹介である。PEに関する本として、出版物としたいという思いがある。ISBN(書籍番号)があるようなイメージである。

<小口>

川村元理事がPEハンドブックを作成された。そのような内容も取り込んでどうか。

本屋に並ばなくても、配布できる冊子にはできるかと考える。

<植村>

20周年記念としての事業の位置づけということで、WGを立ち上げることを挙げた。

<義本>

まずは、出版を目指した企画から始めるのが良いと考える。

3. 来年の総会日時確認

➢ 2021年6月5日(土)とする。

➢ 現状、例年通りの東京グランドホテルとし、予約を進めていく。(川瀬)

<太田>

東京グランドホテルの不便な点として、有線LANのみしかなく、その点が不便だった。

⇒Wi-Fiルーターを持参し、対応可能

4. 20周年記念行事

➢ 実施時期は10月とし、具体的日程は、参加者の状況による。

<義本>

パネルディスカッション、懇親会を開催したいと考えている。いつ頃がよいか？

<太田>

教育部会のイベントが、10月頃空いており、その頃がよい。

<義本>

20周年冊子の発行もあり、パネルディスカッションの内容を含めたいと思っている。

冊子発行の期間を考え、10月の実施がよい。

<森山>

コロナの影響によっていくつかのオプションが考えられる。1. 懇親会含めて通常の総会のように



特定非営利活動法人 日本プロフェッショナルエンジニア協会

実施、2. 懇親会はコロナの影響を考慮して別途、3. 2に加えて、パネルディスカッションもパネリストと運営のみ集合し、Web 配信。これらのオプションを考慮した上で検討を進めてほしい。

5. 9 月度理事会の開催方法

- Zoom によるオンライン開催を継続するか、国・自治体・職場の規制が発令されない場合、役員は会議室へ集まり、その他の役員はオンラインにて参加するか、どのタイミングで判断するか、以下検討した。
 - 状況を見つつ、理事会日程が近付いてから、方式(会議室 or オンライン)を決定する。
 - 〈森山〉
今後、コロナが収束しても、会議室がすぐに埋まるとは考えづらいので、現在のオンライン形式を前提で考えてもよい。
ここ数年、Skype などを使用したオンライン会議を行い、総会も Zoom を用いた形式を行っている。
 - 〈西久保〉
これがある種の機にして、オンラインを前提とした会議にしてもよいと考える。そして、対面形式の会議は、年数回程度で、日にちを決める程度でよいかと思う。
 - 〈稲葉〉
家庭環境などにより、オンライン参加が難しい理事もいると思うので、考慮したい。

【報告事項】

1. 総会後の手続き・・・Shiryō-H01
次の通り諸手続きが完了した。
ボランティア保険手続き終了(6/20)
東京都への事業報告と定款変更届完了(7/2)
法務局への定款変更申請完了(7/2)
謄本を取り寄せ完了(7/4)
今後、銀行口座の名義変更、三菱 UFJ ではインターネットバンキングの利用を行っていく。
2. NSPE への返礼ビデオメッセージ
作成したので、NSPE へ早々に送る。
また、NSPE の HOD が 8 月 2 日に開催される。NSPE へ Web 配信してもらえるか確認し、可能であれば傍聴させていただく。
3. JPEC との連絡会(事務局:小口)
JPEC との 6 月の連絡会は延期で、今回は 8 月の予定。PE 試験受験時の経験記述削除の件は、検討をお願いしている。
総会で会員から、受験時の学歴情報 JPEC、NCEES、州ボードへ伝えられていない、というコメントがあったことについては、JPEC から米国へは必要以上の情報が共有されないことを受験者に周知しておくことが必要と考える。次回の議題へ含めるが、さらに延期となるようであれば、経験記述削除の件も含めメールでの連絡を考える。
4. 持続化給付金の申請(会計:小口)
昨年度と月単位の比較で、収入減が半分以上の月があるなら、持続化給付金の申請ができるので、申請を計画し、進めていくことを確認した。
5. 各種イベント計画(教育:太田)
エンジニアズサロンの 2 回目の実施日が 7 月 29 日に予定しており、講師を募集している。
JSPE Day は外部講師に依頼することもあり、Zoom 実施の場合、音声テストなどは必要になる。
6. 冊子版の事業報告書の郵送報告(企画:西久保)・・・Shiryō-H06
冊子不要と連絡を受けた会員を除いた 316 名への配送手配が完了し、7/9 発送予定。事業報告書関係の費用は、製本代 297,440 円と発送費 42,060 円の計 339,500 円で予算内。今後の対応は、住所不



特定非営利活動法人 日本プロフェッショナルエンジニア協会

明の返却分に対して電子版の連絡を行う。 ※次年度以降冊子が不要な会員は連絡いただき添付リストに加える。

7. JSPE マガジン夏号の発行報告(広報:西久保) …Shiryō-H07

7/3 にマガジン夏号を発行。理事の方へは別途お願いしているように、PE ライセンスの更新体験、いこいの広場などについて、引き続き原稿提供をお願いした。

8. その他…Shiryō-H08

(1) 総会の振り返り(反省会)

各種実施予定のもの、審議すべき事項など確認した。

以下、各役員の総会への感想

<西久保>

会員数や議決権の数など、一部、事前確認・連携できなかったことがあった。

<太田>

実施するまでは、心配はあったが、うまくいったと思う。当日の役割分担をもう少し精緻にできたと思う。

<小口>

全体としてうまくいったと思う。関西の音声が聞きにくいという意見があり、そのあたりの事前チェックをしていきたい。

<稲葉>

議決権の投票など、やってみたら意外とできるものであると実感した。

<藤村>

おおむね、うまくいき、今後も継続したいと思う。

<義本>

移動の手間などが省け、回数を重ねるごとに、完成度が挙がると思う。

<植村>

うまくいったと思う。総会については面着が基本かと思われる。

(2) オレゴン州のライセンス更新時の連絡障害

<小口>

非会員 PE からの情報では、オレゴンの州ボードに連絡が取りづらい状況になっている。FAX が受付けられず、暗号化したメールが州ボードのサーバーで弾かれた。他州も含めこのような状況の会員へ通知または情報を集めるメールの発信について確認した。

→会員からは2件ほど問い合わせがあったが、回答以降、特に類似の案件・問い合わせは来ていない。今後続くようであれば、FAQ のような形で掲載する。




(3) 会計部会稲葉理事の業務について

<小口>

現在、稲葉理事から紺野税理士に面談(Zoom)の実施日を打診中。面談目的は、会計帳簿記帳の指導について。

【次回理事会予定】 9月12日(土) 9:30~

【議事承認印】

承認	森山 亮	
承認	西久保 勲	
承認	小口 力	
書記	稲葉 光高	